

議事要旨

会議名称	第4回 杉並区荻窪駅周辺まちづくり検討会
日時	平成28年8月10日（水）10：00～12：00
場所	杉並区役所 本庁舎 中棟4階理事者控室
出席者	【構成員】 まちづくり担当部長、土木担当部長、区民生活部副参事（荻窪地域担当）、産業振興センター次長、調整担当課長、まちづくり推進課長、都市再生担当課長（都市整備部副参事（荻窪地区まちづくり担当）兼務）、耐震・不燃化担当課長 【外部アドバイザー】 大沢昌玄氏、高見澤邦郎氏、関口太一氏 【事務局】 都市整備部まちづくり推進課都市再生担当
配付資料	資料1：荻窪駅周辺まちづくり方針 中間まとめ（案） 資料2：駅周辺エリアの取組みの具体化に向けて整理すべき事項
会議次第	1. 荻窪駅周辺まちづくり方針の中間まとめについて 2. 取組みの具体化に向けた整理について

<議事概要>

(1) 荻窪駅周辺まちづくり方針の中間まとめについて

事務局より、荻窪駅周辺まちづくり方針の中間まとめについて説明後、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・内容について、「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」から変更した箇所があれば、わかりやすく説明できるようにしておく必要がある。
- ・方針の方向性が施策の方向性であり、個別具体的な施策については次の段階で検討していくことが分かるようにする必要がある。
- ・地元の意見を聞いて、次に区の方向性を検討するという今回の仕組みを生かし、今後も取組んで欲しい。
- ・地元から提案された「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」をなるべく尊重すべきである。
- ・駅前広場機能の充実について、どのような観点から行うのかを示し、併せて面積の検討も必要である。
- ・各目標について、まず総論を示し、次に各論を述べるという構成となっているか、確認する必要がある。
- ・南北連絡動線と駅前広場の課題を同列に扱うことが適切か、再度確認する必要がある。
- ・交通結節機能や滞留機能といった複数ある駅前広場の機能をわかりやすく示すとよい。
- ・住宅都市という視点を加えたほうがよい。

(2) 取組みの具体化に向けた整理について

事務局より、取組みの具体化に向けた整理について説明後、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・南北連絡動線については、将来を見据えた改善を目指すことが重要である。
- ・乗換え客に、いかにまちに出てもらうかを検討するべきである。
- ・駅前広場における荷捌きは、認識しておくべき問題点である。
- ・自家用車の送迎スペース確保も課題である。
- ・取組みの具体化に向け、鉄道事業者との意見交換を継続していく必要がある。

以上